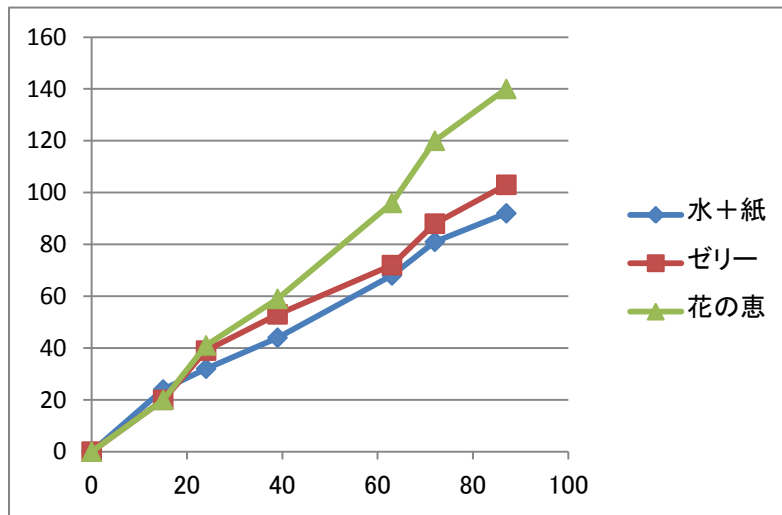


実験1. 7本のバラと添え花、グリーンで花束を作った。
 水+キッチンペーパー(横にした時の水漏れを防ぐためにキッチンペーパーを巻いている)
 エコゼリー 花の恵 をおおよそ150gをビニール袋に入れ、そこに花束を入れて重さを量る。
 3日目には水がなくなったので、すべてのビニール袋に50mlずつ水を足す。
 4日目には、水+キッチンペーパーにはベントネックが観察され、ゼリーのものは
 花弁に勢いがなくなってきたが、花の恵のものは元気だった。
 室温、湿度は昼17度、湿度30~40% 夜 5度~10度 湿度40~60%くらい

	水+紙	ゼリー	花の恵	150gずつ入れる
1月13日	0	0	0	0
1月14日	15	24	20	20
1月14日	24	32	39	41
1月15日	39	44	53	59
1月16日	63	68	72	96
1月16日	72	81	88	120 水 50ml足す
1月17日	87	92	103	140



水+キッチンペーパー



ゼリー



花の恵み

実験15時間目の各保湿剤の様子。



水+紙



ゼリー



花の恵

72時間後の保湿剤の様子。
花の恵の水はよく吸われていて
ほとんど残っていない感じがする。
この後、すべての袋に水50mlを
足す。



水+紙 オレンジ色がベントネックしかけている



ゼリー黄色がベントネックしかけている

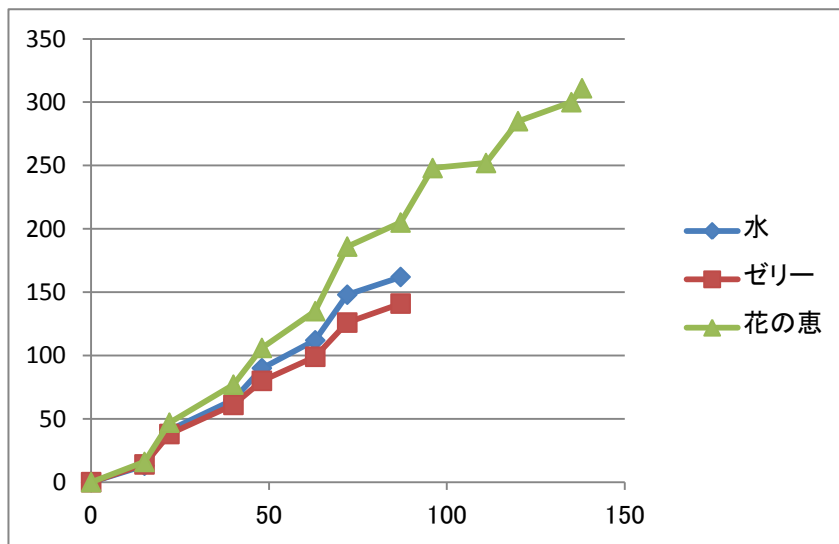


87時間後の花の様子。

花の恵み 全体に咲き気味になるがみんなシャキッとしている。

実験2. 10本のバラと添え花、グリーンで花束を作った。
 水+キッチンペーパー、ゼリー、花の恵 をおよそ200gをビニール袋に入れ花束を入れる。
 2日後には水がなくなったので、すべてのビニール袋に50mlづつ水を足す。
 4日目には水やゼリーのものにベントネックの兆候が見えたので実験を終わる。
 花の恵みの花はまだ元気だったので水100mlを足して続ける。
 5日目にも100mlの水を足す。
 6日目も大分開いてきたが元気で生き生きしていた。
 店で、実験中の花をお客様が買いたいというので、売る。実験終わり。
 室温、湿度は昼17度、湿度30~40% 夜 5度~10度 湿度40~60%くらい

時間	水	ゼリー	花の恵	200g位入れる
1月27日	0	0	0	0
1月28日	15	13	14	16
1月28日	22	41	38	47
1月29日	40	65	61	77
1月29日	48	90	80	106 水 50ml足す
1月30日	63	112	99	135
1月30日	72	148	126	186
1月31日	87	162	141	205 水 100ml足す
1月31日	96			248
2月1日	111			252
2月1日	120			285 水 100ml足す
2月2日	135			300
2月2日	138			311



水



ゼリー



花の恵

実験開始前の 保湿剤の様子。



水



ゼリー



花の恵

4日目の保湿剤の様子



水 ピンクの花にベントネックが起こり始めている



ゼリー 白と後ろの赤にベントネック発生



花の恵 すべての花が元気

4日目の花の様子



花の恵 6日目の写真

花は咲き気味だが、すべての花が首がしっかりしていて元気だった。

提案：

バラは水揚げが良く、夏場普通の水でも 1本あたり1日5ml以上水を吸うことが普通に見られると、すると、はなの恵みを使った場合は8ml以上吸うことが予想される。

10本の花束でもグリーンの方も入れると、1日100ml位は水がなくなることになる。

花を萎れさせないためには、毎日水を補給しなければならない。

なので、花束にストローをさし、それに注射器で水を入れる方法を考えた
これと、花束を立てるスタンドをつけて販売しようと考えている。



こんな感じで保水する。
もちろん、下には花の恵を入れておく